

第48回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会

(第48回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部)

(第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部)

(2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会関東支部選考の部)

実施要項



開催日 2023年2月4日(土)・5日(日)

会場 大田区総合体育館

主催 日本バトン協会関東支部

目 次

大会概要	P 2
第 48 回全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部 第 4 回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会 予選の部	P 3~17
2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会 関東支部選考の部	P 18~25
新型コロナウイルス感染拡大防止対策用 練習における注意事項<参考資料>	P 26
各種申し込みについて	P 27

郵便局払込取扱票

大会概要

【大会名称】 第48回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会

【開催日時】

2023年2月4日(土)・5日(日) 9:30~19:30(予定)

※競技種目の日程は、後日お知らせします。

第48回全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール

第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会 予選の部

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール

2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会関東支部選考の部

ソロ・トゥーバトン・スリーバトン (第48回全日本選手権・第4回ジュニア選手権予選の部同時審査)

アーティスティックトワール・アーティスティックペア・アーティスティックチーム・アーティスティックグループ

【会場】 大田区総合体育館 東京都大田区東蒲田 1-11-1

アクセス

- ・京急本線「梅屋敷駅」から徒歩5分
- ・京急本線「京急蒲田駅」から徒歩7分
- ・東海道本線・東急池上線「蒲田駅」から徒歩15分

【主催】 日本バトン協会関東支部

【大会事務局】 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-4-2-11 中屋ビル304号室

TEL/FAX 03-5879-6466 日本バトン協会関東支部

【後援】 東京都・(公財)東京都体育協会・大田区・(公財)大田区スポーツ協会
(予定) 一般社団法人日本バトン協会

【主旨】 本大会は、競技バトンの普及・振興を図り、スポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とし、関東一円のバトントワラーが一堂に集い、技術を競い、友好を深めるとともに青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢献する精神のもとに行われる。

当支部では、コロナ禍での状況に対応し、安全に活動されている団体を応援するとともに選手一人ひとりの努力を称えるものとする。

第 48 回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部 実施規定

第 4 回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部 実施規定

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2022 年 11 月 18 日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に 2022 年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
※一般団体と学校団体の両方に構成員登録している選手は、どちらか一方から出場すること。
ペアのメンバーは関東支部内であれば複合を認める。尚、どちらの団体から出場するかは任意とする。
- (3) 参加者は、参加申込書を期日 2022 年 11 月 18 日(金)必着にて事務局に送ること。
- (4) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、期日までに振り込むこと。
- (5) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会 2022 年度ワッペンを着装すること。
- (6) 同一選手の出場は、6 種目の中から 2 種目までとする。
※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失う場合もある。

2. 種目に関する規定

- (1) ソロトワール
- (2) トゥーバトン
- (3) スリーバトン
- (4) ペア
- (5) ソロストラット
- (6) ダンストワール

3. 部門に関する規定

※生年月日は以下の通りとする。

【ソロトワール】

- (1) 部門は次の通りとする。

①	女子アンダージュニア I	2014 年 1月1日	～	2016 年 4月 1日
②	女子アンダージュニア II	2011 年 4月2日	～	2013 年 12月 31日
③	女子ジュニア I	2009 年 1月1日	～	2011 年 4月 1日
④	女子ジュニア II	2006 年 1月1日	～	2008 年 12月 31日
⑤	男子アンダージュニア	2011 年 4月2日	～	2016 年 4月 1日
⑥	男子ジュニア	2006 年 1月1日	～	2011 年 4月 1日
⑦	女子シニア I	2002 年 1月1日	～	2005 年 12月 31日
⑧	女子シニア II		～	2001 年 12月 31日
⑨	男子シニア		～	2005 年 12月 31日

【トゥーバトン・スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子アンダージュニア	2011年4月2日	～	2016年4月1日
② 女子ジュニアⅠ	2009年1月1日	～	2011年4月1日
③ 女子ジュニアⅡ	2006年1月1日	～	2008年12月31日
④ 男子アンダージュニア	2011年4月2日	～	2016年4月1日
⑤ 男子ジュニア	2006年1月1日	～	2011年4月1日
⑥ 女子シニアⅠ	2002年1月1日	～	2005年12月31日
⑦ 女子シニアⅡ		～	2001年12月31日
⑧ 男子シニア		～	2005年12月31日

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

① アンダージュニア	2011年4月2日	～	2016年4月1日
② ジュニアⅠ	2009年1月1日	～	2011年4月1日
③ ジュニアⅡ	2006年1月1日	～	2008年12月31日
④ シニアⅠ	2002年1月1日	～	2005年12月31日
⑤ シニアⅡ		～	2001年12月31日

※性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。

①～⑤はどの組み合わせも自由とする。

ただし、①においては②③以外との組み合わせは不可とする。

※補欠は認めない。

【ソロストラット・ダンスワールド】

(1) 部門は次の通りとする。

① アンダージュニア	2011年4月2日	～	2016年4月1日
② ジュニアⅠ	2009年1月1日	～	2011年4月1日
③ ジュニアⅡ	2006年1月1日	～	2008年12月31日
④ シニアⅠ	2002年1月1日	～	2005年12月31日
⑤ シニアⅡ		～	2001年12月31日

※性別区分は行わない。

4. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

(1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

5. 演技順に関する規定

(1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。

(2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

6. 審査、順位に関する規定

(1) 審査員長、副審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。

① 審査員長1名、副審査員長1名以上とし、審査の円滑な遂行を総括する。

② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に5名とする。

- ③ペナルティ審査員は1名とする。
- (2) 準々決勝・準決勝・決勝は次の通りとする。
- ① 準々決勝出場人数により準決勝進出人数は大会実行委員会において決定する。
 - ② 準決勝上位8位までが決勝に進出することを基本とする。
 - ③ 準決勝出場人数により、準決勝を行わず決勝のみとする。
- (3) 順位の決定は次の通りにする。
- ① 審査員の評点(10点法小数点第2位まで)からペナルティを差し引き審査員の得点とする。
 - ② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - ③ 複数コートにおける準決勝進出者は得点の高い順とする。
- (4) 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
- 優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
 - 優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
- ① 上記手順によっても決勝進出最終順位が同位の場合は全員決勝に進出する。
 - ② 同率順位はそのままとし、次位を空位とする。
 - ③ 全日本推薦最終順位が同位の場合は、評点の上下カット合計の高い方を上位とする。
 ※準々決勝・準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。
 ただし、準決勝を行わない決勝における棄権は棄権とする。

※審査方法は全日本選手権の審査方法で行う。

[6 種目の審査は部門にかかわらず下記の5つのレベルで評価]

フェア [0.0~2.9]

基本的なトワリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0~4.9]

基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0~6.9]

3モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0~8.9]

正確で、質の高いトワリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0~10.0]

すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

7. 表彰に関する規定

- (1) 原則として各部門共8位まで入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

8. 推薦に関する規定

本大会の上位者を関東支部より、第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会及び第48回全日本バトントワーリング選手権大会に推薦する。

【第48回全日本バトントワーリング選手権大会】

【第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会】

関東支部より推薦された出場者は、一般社団法人日本バトン協会ホームページより参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出をすること。

※申込用紙はHPからダウンロードして下さい。

※すべての参加申し込み申請の〆切は、2023年2月15日(水)13時までとする。

※種目別参加費は締め切り日までに指定口座への納入を厳守すること。

締め切り日を超えた場合は出場できないこともある。

9. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、実行委員長・審査員長・団体責任者・本人が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。
競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

10. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場できない場合もある。
- (2) 実施要項の主旨を変更することなく、実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- (3) 一般社団法人日本バトン協会が第48回全日本バトントワーリング選手権大会の開催を中止した場合、今大会を中止する場合もある。
- (4) 災害や感染症などの緊急事態状況の大会開催は、日本バトン協会関東支部が総合的に判断し延期または中止とする場合がある。尚、参加団体、観客、大会関係者の安全性と支援を意図することを目的とし実施要項を一部変更することもある。

競技規定・審査規定

ソロトワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Solo Special(約1分45秒)
- (5) 内容 …1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① イントロダクション（オープニング サリュートは自由）
- ② 3モード エーリアル [バーティカル・フラット(ホリゾタル)]
ロール [バーティカル・フラット(ホリゾタル)]
コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット(ホリゾタル)]
- ③ エンディング（エンディング サリュートは自由）
※フロアワークは組み入れない方が望ましい。
- (6) リストリクション …対象：女子アンダージュニアⅠ、女子アンダージュニアⅡ、
（技の制限） 男子アンダージュニア
エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上
及び全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[女子]レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子]トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。
ソックス、タイツ自由。
[共通]シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
3モードのバランス／両手使い
 - ② ディフィカルティー
バトンとボディワークの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、
コネクション
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質／
リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／
自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
 - ③ スピード
バトンの一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
 - ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

トゥーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン2本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① コンタクトテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
 - ② ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
 - ③ ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエアリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
 - ④ ダブル トス トリック（2本同時に空中ヘトス）
 - ⑤ ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
 - ⑥ シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ）
 - ⑦ コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）
- (6) リストリクション …対象：女子アンダージュニア、男子アンダージュニア
（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上及び全てのアクロバティック空中動作を禁止

[女子] レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。
ソックス、タイツ自由。

[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

① バラエティー

コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／
コンプレックス トリック

② ディフィカルティー

バトンとボディワークの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、
コネクション

(2) 実施

① テクニック

バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トゥーバトンの熟練度、質
ボディワークの熟練度、質／リズム、タイミングのコントロール

② パフォーマンス&エクスプレッション

プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）
自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感

③ スピード

バトンの一貫したスピード／スピードコントロール

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
 - ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

スリーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン3本
- (3) 競技フロア…縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① カスケード（左右交互に行われるリリースとキャッチ）
- ② シャワー（両手による継続的なリリースとキャッチ）
- ③ ジャグル（片手による継続的なリリースとキャッチ）
- ④ ダブルトス—シングルトス
（2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする）
- ⑤ ハイ ロー（高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）
- ⑥ スタックス（高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げ上げ、その下でコンタクトマテリアルを行う）
- ⑦ トリプルトス（最初のトスをレセプションする前に、1本ずつすべて順番にリリースするもの。
または、3本のバトンすべてを同時にリリースするもの）
- (6) リストリクション …対象：女子アンダージュニア、男子アンダージュニア
（技の制限） エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上
及び全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[女子] レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。
ソックス、タイツ自由。
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクト マテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
 - ② ディフィカルティー
密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エーリアル
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトンの精密さ、安定感／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／
バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、
レボリューションの正確さ
 - ② パフォーマンス&エクスペリション
エンターテインメント性／持続性&スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
 - ③ デマンド
継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ペア

1. 競技規定

- (1) 人数 …2名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン2本（各1本）
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

① ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。

※二人がソロトワールの同じことを行うだけでなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

- (6) リストリクション …対象：アンダージュニア
（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上及び全てのアクロバティック空中動作を禁止

(7) コスチューム

[女子] レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。

ソックス、タイツ自由。

[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

① バラエティー

3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン

② ディフィカルティー

バトンとボディワークの困難度／シンクロナイズーションの困難度／コーディネーションの困難度

(2) 実施

① テクニック

バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質／ペアのコントロール／リズム、タイミングのコントロール

② パフォーマンス&エクスペッション

ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力

③ スピード

バトンの一貫したスピード／2人の統一したスピード

(3) ペナルティ

① ドロップ 1本につき0.1点減点

② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点

③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点

（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）

④ リストリクション 1回につき0.2点減点

※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ソロストラット

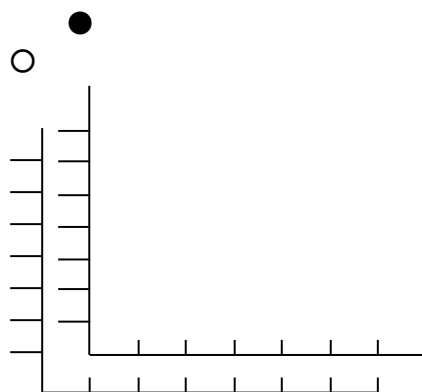
1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …栄光へのマーチ（約1分30秒）
- (5) 内容 …マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ①イントロダクション8拍
 - ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）
- ②ミリタリー（ダブルL字ストラット）32拍
 - ・足の動き… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

FM 8 (LS ON8)
FM 8 (TTR ON7)
FM 8 (RS ON7)
FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- ・左手は、指を揃えて左腰におく
- ・足は、ベーシックストラット
- ・背中是一直正面（進行方向）を向く、顔は引き締める

- ③プレゼンテーション 32拍
 - ・自由に表現できるセクション
- ④フォワードモーション 96拍
 - ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
 - ・奇数は左足、偶数は右足でステップする
 - ・両脚は1拍までとする
 - ・ダブルイリュージョンは踏みかえること
- ⑤エンディング 16拍
 - ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション

- (6) リストリクション …対象：アンダージュニア
(技の制限) エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上及び全てのアクロバティック空中動作を禁止

(7) コスチューム

[女子] レオタード(袖の有無自由) 装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。
ソックス、タイツ自由。

[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

- ① イントロダクション・ミリタリー ストラット
ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- ② プレゼンテーション・エンディング
バトンとボディのバラエティー／バトンとボディのディフィカルティー／
バトンとボディのオリジナリティー
- ③ フォワードモーション
バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／
バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

- ① テクニック
バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムの取り方／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ③ アウトオブステップ
フォワードモーションにおける足踏みの誤り

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ダンストワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …ジュニア 輝きの時（約1分34秒）
シニア Celebration（約1分33秒）
- (5) 内容 …バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。
- (6) リストリクション …対象：アンダージュニア
（技の制限） エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上及び全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[男女共通] 自由 装飾、髪飾り自由。
帽子の脱着やコスチュームの一部が身体から完全に離れる様な脱着は不可。
シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

- ① コレオグラフィー
バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成、振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方、ステー징
- ② バトンとダンスワークのブレンド
バトンのバラエティー、ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

(2) 実施

- ① テクニック
バトンとボディの正確さ、明確さ／動きの熟練度、質／リズム、タイミング／音楽との関わり、調和／ダンススキルの質／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
ショーマンシップ、エンターテインメント性／自信

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用することが望ましい。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- (3) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- (4) 競技フロアヘタオール・パウダーなどバトン以外を持ち込んで서는ならない。
- (5) 怪我のための包帯等は可。
- (6) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- (7) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- (8) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い、装飾（顔に模様を描く等）は禁止する。

2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会予選関東支部選考の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2022年11月18日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に2022年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) ※一般団体と学校団体の両方に構成員登録している選手は、どちらか一方から出場すること。
- (3) エントリー種目
 - ① 同一選手の出場は、ユース・ジュニアは2種目まで、シニア・アダルトは3種目までとし、補欠も同様とする。
 - ② アーティスティックチーム/アーティスティックグループのみ補欠を認める。
 - ③ ミックス種目は、同支部内の複合を認める。尚、どちらの団体から申し込むかは任意とする。
- (4) 参加者は、参加申込書を期日2022年11月18日(金)必着にて事務局に送ること。
- (5) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、期日までに振り込むこと。
- (6) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2022年度ワッペンを着装すること。
- (7) 第48回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部、第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部と重複エントリーができる。
※「1. 出場資格」に反した場合は、大会実行委員会にて出場の判定を行う。
※ 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。
- (8) 日本国籍であること。

2. 種目・部門

(1) 部門は以下の通りとする。

【女子 ソロ・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール】

- | | | | | |
|----------|-----------|---|-------------|----------|
| ① 女子ユース | 2009年1月1日 | ～ | 2011年4月1日 | ※12歳～14歳 |
| ② 女子ジュニア | 2006年1月1日 | ～ | 2008年12月31日 | ※15歳～17歳 |
| ③ 女子シニア | 2002年1月1日 | ～ | 2005年12月31日 | ※18歳～21歳 |
| ④ 女子アダルト | | ～ | 2001年12月31日 | ※22歳以上 |

【男子 ソロ・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール】

- | | | | | |
|----------|-----------|---|-------------|----------|
| ⑤ 男子ジュニア | 2006年1月1日 | ～ | 2011年4月1日 | ※12歳～17歳 |
| ⑥ 男子シニア | | ～ | 2005年12月31日 | ※18歳以上 |

【ミックス アーティスティックペア】

- | | | | | |
|--------|-----------|---|-------------|----------|
| ⑦ ジュニア | 2006年1月1日 | ～ | 2011年4月1日 | ※12歳～17歳 |
| ⑧ シニア | | ～ | 2005年12月31日 | ※18歳以上 |

【ミックス アーティスティックチーム】

区分なし/ 6～8名 ～ 2011年4月1日 ※12歳以上

【ミックス アーティスティックグループ】

区分なし/ 10名～30名以内 ～ 2011年4月1日 ※12歳以上

※すべての種目は小学生を除く、12歳以上とする。

※2023年12月31日時点の年齢を示す。

3. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

4. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選にて決定する。
- (2) 準決勝・決勝進出者の演技順は、セット番号の早い順を優先し、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

5. 審査及び選考に関する規定

- (1) 審査員長、審査員の役割は次の通りとする。
 - ① 審査員長は審査の円滑な遂行を統括する。
 - ② 審査員はアーティスティックトワール／アーティスティックペア／アーティスティックチーム／アーティスティックグループは5名とする。
 - ③ 順位について
 - (ア) ソロ／トウーバトン／スリーバトンは、「第48回全日本選手権・第4回全日本ジュニア選手権関東支部大会」と同時審査とし、各部門の成績により選考する。
部門は次の通りとする。
 - ① 女子ユースは女子ジュニアⅠ、②女子ジュニアは女子ジュニアⅡ、③女子シニアは女子シニアⅠ、④女子アダルトは女子シニアⅡ
 - (イ) アーティスティックトワール／アースティックペアは10点法により採点し、各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - (ウ) アーティスティックチーム／アーティスティックグループは100点法により採点し、各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - (エ) ドロップペナルティは行わず、違反があった場合には、審査員長より、計時/ペナルティシートにて警告し、減点はしない。
 - ④ 同位者のみ次の優先順に従って決定する。
 - 優先順 1 全審査員の席次点合計とする。
 - 優先順 2 全審査員の点数を上下カットした合計とする。
 - 優先順 3 全審査員の点数合計とする。
 - 優先順 4 審査員の投票により決定する。
 - ⑤ 出場者数により、準決勝を行う場合がある。

6. 音楽に関する規定

- (1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア
課題曲 Artistic Twirl & Artistic Pair 1分45秒
- (2) アーティスティックチーム／アーティスティックグループ
自由曲 3分～3分30秒

7. コスチュームに関する規定

- (1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア共通
 - ① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
- (2) アーティスティックチーム／アーティスティックグループ共通
 - ① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
 - ② 手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。

8. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、実行委員長・審査員長・団体責任者・本人が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

9. 著作権について

【アーティストックチーム、アーティストックグループ共通】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

大会では音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない。

(1) 音楽著作権使用許諾の申請 使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接著作権を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。
- ④ 支部大会において許諾が取れていても、日本代表選考会の許諾は必ずとること。

※録音使用許諾については、支部大会・日本代表選考会を一括して許諾申請することができる。

尚、著作権は著作者の死後70年を経ると消滅する事が原則だが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理すること。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添

② 条件ありで許諾された（無料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること

- 著作権所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

※著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送。（PDFでメール可）

録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入すること。

尚、著作権に関する書類、使用曲音源のCD-Rは、2023年1月10日（火）までに大会事務局まで郵送すること。

競 技 規 定

【アーティスティックトワール】

1. 演技に関する規定
 - ① 演技 ……1名
 - ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
 - ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「空間の利用度」で判断する。
 - ④ 演技曲（時間） ……Artistic Twirl & Artistic Pair（約1分45秒）

【アーティスティックペア】

1. 演技に関する規定
 - ① 演技人数 ……2名
 - ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各1本）
 - ③ 演技スペース ……縦6m×横12mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。
 - ④ 演技曲（時間） ……Artistic Twirl & Artistic Pair（約1分45秒）

【アーティスティックチーム】

1. 演技に関する規定
 - ① 演技人数 ……6名以上8名以内
 - ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン6本から8本（各1本）
 - ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り口の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越えてしまった場合は、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する。
 - ④ 演技曲（時間） ……フリースタイルの音楽は各参加者が選択しCD-Rに録音し事前に送付すること。CD-Rには種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。
演技席で行うこと。曲のスタートとストップの合図は演技者が演技スペースで行うか、付添者が音響席にて行うこと。
曲の長さは、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に合図音を使用しても良いが計時には認めない。
3分以上3分30秒以内

【アーティスティックグループ】

1. 演技に関する規定
 - ① 演技人数 ……10名以上30名以内
 - ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン（各自1本）
 - ③ 演技スペース ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り口の各ライン中央に印を付ける。
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「フロアの利用」で判断する。
 - ④ 演技曲（時間） ……自由曲
グループの音楽は各参加者が選択し、CD-Rに録音し、事前に送付

すること。CD-Rには、種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと。

演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。

3分以上3分30秒以内とする。

《技術内容の禁止事項》

スピン	<ul style="list-style-type: none"> ・1スピン…リリース&レセプション、ボディも禁止事項なし。 ・2スピン…スタンダードリリースとレセプション。（※1）ボディの禁止事項なし。
エーリアル ジムナスティック	<ul style="list-style-type: none"> ・側中・前宙のような空中動作は禁止。
ステーションナリー コンプレックス &トラベリング コンプレックス	<ul style="list-style-type: none"> ・トスの下で、メジャーボディムーブ（※2）は1回。その際、スタンダードリリース&スタンダードレセプション。 ・その他ボディの禁止事項なし。
ダブルエレメント トリック	<ul style="list-style-type: none"> ・トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	<ul style="list-style-type: none"> ・コンティニューアスフロントネックロール（手の有無に関係なく）禁止。 ・フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・モンスターロール（パーシャルも完成形も）禁止。
コンタクトマテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止事項なし。

詳細：（※1）スタンダードリリースとは、右手と左手のバーティカルサムトス・バーティカルバックハンドトス・水平トス。

スタンダードレセプションとは、バーティカル・水平右手左手キャッチと右手左手グラブ。

（※2）メジャーボディムーブとは、イルージョン・ウォークオーバー（前・後）・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。

マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップ・ステップ・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

◎審査規定の詳細は、日本バトン協会ホームページにて確認すること。

新型コロナウイルス感染拡大防止対応策用

練習における注意事項<参考資料>

日本バトン協会関東支部

- ・学校、団体のある都県および市区町村、使用施設のガイドラインに従う。
- ・練習前には検温をし、体温・症状の有無等を指導者・責任者に報告する。
- ・練習前後にバトン・身体（練習着・シューズ含む）の消毒を徹底する。
- ・大きな声で指導や声かけをせず、対面では会話を避ける。
- ・手具等を共有しない。
- ・タオルや飲み物を共有しない。
- ・飲食は指定場所以外では行わず、周囲の人と距離をとり、対面を避ける。
- ・定期的に換気を行う。
- ・体調に変化を感じた場合は速やかに申し出、責任者は保護者等に連絡が取れるようにする。
又、その後の報告・連絡事項等を怠らない。
- ・練習中、移動中の不要な会話は控える。
- ・練習会場において、各自の荷物は2 m程度離して置く。

各種申込について

1. 参加申込

(1) 参加の希望がある団体は下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。

ただし、参加申込フォーマットは2022年10月下旬からの配信とする。

必須事項を入力し2022年11月18日（金）までに大会アドレスまでデータにて提出すること。

Eメールアドレス kanto48@tbz.t-com.ne.jp

(2) **パスポートサイズ証明写真（縦45mm×横35mm）データを2023年1月10日（火）までにCD-Rに入れて郵送すること。その場合、選手一人ずつの氏名をデータのファイル名とすること。**

大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

2. 参加費

(1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて2022年11月18日（金）までに振込むこと。

(2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。

① 団体参加費 1,500円

② 種目別参加費

【全日本選手権予選の部】

ソロトワール	6,000円
トゥーバトン	6,000円
スリーバトン	6,000円
ダンストワール	6,000円
ソロストラット	6,000円
ペア（1組）	10,000円

【IBTF世界バトントワーリング選手権大会関東支部選考の部】

ソロ／トゥーバトン／スリーバトン	1,000円
アーティスティックトワール	7,000円
アーティスティックペア	12,000円
アーティスティックチーム	20,000円
アーティスティックグループ	30,000円

3. 入場券 前売り 1日券 2023年2月4日（土）2,000円、2月5日（日）2,000円
当日 各日 2,500円

4. プログラム引換券 500円（選手には1部ずつプログラムを配布）

5. 引率者（参加申込後、引率者用リボンを送付）

・参加者3人まで 団体引率責任者1名＋引率者1名

※選手が5人増えるごと引率者が1名増える

※団体引率責任者には、プログラム1部進呈

<大会事務局> ※上記1～2申込先

〒124-0024

東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304号室

日本バトン協会関東支部

※質問・問い合わせはEメールにてお願い致します。

Eメールアドレス kanto48@tbz.t-com.ne.jp

6. 課題曲CD及びその他の資料について

(1) 全日本選手権課題曲CD 1枚 2,200円

（著作権法によりダビングは禁止されています。各団体責任者は選手1名につき1枚必ず購入して下さい）

◆上記申込先<一般社団法人日本バトン協会>HPより手続きができます。

(2) **IBTF規定曲（ソロ・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール）**

IBTFのホームページよりダウンロードし使用すること。⇒[ダウンロードページはこちら](#)

7. 写真撮影について

- (1) 会場内での写真撮影は禁止とする。
- (1) 業者による記念写真は個人の申し込み制とする。

※V T R撮影券の販売は不特定多数の撮影により、二次的被害を防ぐため協会として禁止されました。今後V T R撮影券の販売は致しません。